

千里同風



令和8(2026)年6月5日号

～雲一つない晴天の下、運動会も盛大に～

5月30日。今年の運動会は天候に恵まれ、雲一つない見事な快晴で開催することができました。児童会で考えた『みんなが主役 キラキラ笑顔が輝く舞台(ステージ)』をスローガンに掲げ、各学級で、学年・学団、全校で練習に取り組んできました。先生たちも工夫して、暑さ対策として運動場と体育館の練習機会を計画的に進めてもらったおかげで、熱中症の防止に努めることができました。

当日も日差しが強く気温が高くなっていましたが、適宜水分補給を心がけたことと、時おり吹く涼やかな風にも助けられて、最後まで無事に実施することができました。

受付や駐車場誘導、来賓対応など松小つながり隊の皆様ならびに地域の皆様、学校運営協議会の皆様にご協力をいただきまして感謝申し上げます。また今回、「ちょこつな(ちょこつつながり隊)」としてご協力いただいた保護者の皆様もたくさん増えたと聞きたいへんうれしく思います。今後ともよろしくお願いいたします。

運動会に開会は、元気に歌を歌いながらの入場で始まりました。

赤団と白団の歌声が重なり合うにつれて、子どもたちの気持ちも高まり、見守り私たち大人も引き込まれていく感じがしました。それぞれの応援団も、力強く、それでいてとても和やかで、これから始まるそれぞれの演目へのエールを送りながら、各団の士気も高めてくれました。



走の演目では、人から人へとバトンやリングを託しながら最後まで走りきっている姿に見ている私も力が入りました。



団体競技の演目は、どの競技にも普段はなかなかすることになり動きが取り入れられて、ドキドキとわくわくとハラハラの連続でしたね。みんなの笑顔が光っていました。



表現の演目では、鮮やかな青空を背景に、色とりどりの衣装(Tシャツ、ハチマキ)や小道具を身に付けて、一人ひとりが躍動感のあるダンスや民舞を披露してくれました。



春の運動会は、4年生以上にとっては「新しい学級づくり、新しい仲間づくり」を、1～3年生は単学級ですが、赤白に分かれて競い合うことで「お互いを見つめなおす機会」をもたらしてくれます。個々にも、どの学級・どの学年にも、運動会の経験から新しい関係や発見、意欲、自信・・・様々な形でプラスにつながっていくことに期待したいですね。